

特別展 (1階展示室)

# 吉備路 近代文学 の7人展

— 生誕・没後記念 —

2022.11.13 | 日 | → 2023.2.26 | 日 |

①



②



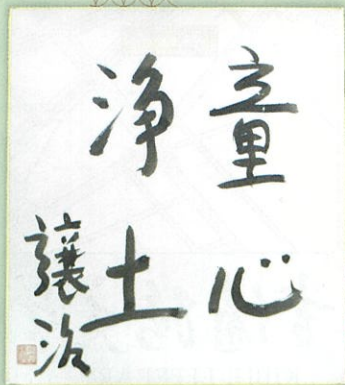
③-1



③-2

小鼓 (短歌詩)……萩原美穂等

④



吉備路文学館  
KIBIJI LITERARY MUSEUM

吉備路とは、岡山県全域(備前・備中・美作)と広島県東部(備後)の地域を古くから呼称した言葉です。

本展示では、この吉備路ゆかりの文学者のなかから、2022年または2023年に、生誕・没後の節目の年を迎える7人についてご紹介いたします。

なかでも萩原朔太郎については、「萩原朔太郎大全2022」参加展示として、岡山とのゆかりを中心に展示紹介いたします。

この機会に、郷土の文学者を身近に感じ、その魅力に触れていただけたら幸いです。

\*「萩原朔太郎大全2022」とは、没後80年にあたる2022年、朔太郎を介した展示を全国の文学館や美術館、大学施設にて同時期に開催するものです。

## 2022年に節目の年を迎える文学者

### ◆没後80年 与謝野晶子(よさの あきこ)

歌人・詩人/明治11(1878)年~昭和17(1942)年/現・大阪府堺市生。昭和4年、8年、岡山旅。

### ◆没後60年 正宗白鳥(まさむね はくちょう)

小説家・劇作家・文芸評論家/明治12(1879)年~昭和37(1962)年/現・岡山県備前市生。

### ◆没後80年 萩原朔太郎(はぎわら さくたろう)

詩人/明治19(1886)年~昭和17(1942)年/群馬県生。岡山の第六高等学校に在学。

### ◆没後40年 坪田譲治(つぼた じょうじ)

小説家・童話作家/明治23(1890)年~昭和57(1982)年/現・岡山県岡山市生。

## 2023年に節目の年を迎える文学者

### ◆生誕190年 岸田吟香(きしだ ぎんこう)

新聞記者・実業家/天保4(1833)年~明治38(1905)年/現・岡山県久米郡美咲町生。

### ◆生誕140年 清水比庵(しみず ひあん)

書家・歌人/明治16(1883)年~昭和50(1975)年/現・岡山県高梁市生。

### ◆生誕120年・没後50年 阿部知二(あべ ともじ)

小説家・評論家・英文学者/明治36(1903)年~昭和48(1973)年/現・岡山県美作市生。

①「東京日々新聞」736号(具足屋/明治7年)  
日本初の従軍記者・岸田吟香の活動を伝える錦絵。  
背負われているのが吟香。

②与謝野晶子著『みだれ髪』\*4版(金尾文淵堂/明治39年)

③-1 「白虹」1巻4号(血汐會/明治38年)  
岡山の同人雑誌。萩原美穂(朔太郎)著「小鼓」掲載。

③-2 目次(部分)

④坪田譲治筆 色紙「童心浄土」

## 北泉庭のご案内

吉備路文学館には、小さな日本庭園があります。館内からゆっくりながめたり、庭をめぐってみたり。四季それぞれの彩りをお楽しみいただけます。



秋の庭園

## 春夏



うこん桜

## 秋冬

